

一度はスクリーンで観ておきたい

白と黒の犯罪映画

——映画で味わうスリルの快楽

CRIME FILMS in BLACK & WHITE

2026
4.25[土]—5.8[金]
神保町シアター

A その夜の妻

監督=小津安二郎 | 原作=オスカー・シズゴール | 「九時から九時まで」



©1930松竹

1930(S5)・松竹蒲田・白黒・サイレント・1時間6分・脚色=野田高梧・撮影=茂原英雄・舞台設計=脇田世根一 出演=岡田時彦、八雲恵美子、山本冬獅、斎藤達雄

我が子のため強盗に手を染めた夫、追跡する刑事、そして妻は。緊迫の逃走劇と室内での心理劇を一夜のうちに描いた小津の傑作サスペンス。

B 非常線の女

監督=小津安二郎 | 原作=ゼームス横



©1933松竹

1933(S8)・松竹蒲田・白黒・サイレント・1時間40分・脚本=池田忠雄・撮影=茂原英雄(雄)・美術=脇田世根一 出演=田中絹代、岡譲二、水久保澄子、三井秀夫(弘次)、逢初夢子

暗黒街に生きる元ボクサーの男と情婦が、ある姉弟と出会い…。ギャング映画を思わせるモダンな空間での男と女のドラマを小津が描く異色篇。

天池穂高 Amaike Hodaka
東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。フィルムセンター(現・国立映画アーカイブ)「小津安二郎の藝術」等の企画にて、サイレント映画の伴奏を担当。作編曲活動に加えて、バレエのレッスンピアニストとしても活動している。

1 地獄の波止場

監督=小杉勇 | 原作=陶山鉄 | 海霧



1956(S31)・日活・白黒・1時間27分・脚本=浅野辰雄・撮影=山崎安一郎・音楽=小杉太郎・美術=坂口武友 出演=小杉勇、三橋達也、木暮実千代、安部徹、岡田恵子、北林谷楽、深見泰三、月野道代

事件現場の金を持ち逃げした老機関士は…。戦前からの名優・小杉が監督・主演した傑作。霧と闇と鉄路を駆使した小杉の非凡な演出を見よ!

2 彼奴を逃すな

監督=鈴木英夫



1956(S31)・東宝・白黒・1時間36分・脚本=村田武雄・撮影=三浦光雄・音楽=芥川也寸志・美術=小川一夫 出演=木村功、津島恵子、志村喬、沢村宗之助、土屋嘉男、堺左千夫、宮口精二

平凡な夫婦が殺人犯を目撃したことから恐ろしい事件に巻き込まれる。ノールもの名手・鈴木英夫が手掛けた知る人ぞ知る大傑作。

3 果しなき欲望

監督=今村昌平 | 原作=藤原審爾



1958(S33)・日活・白黒・1時間41分・脚本=鈴木敏郎、今村昌平・撮影=壺田貞久・音楽=斎藤寅次郎・美術=中村公彦 出演=長門裕之、中原真苗、渡辺美佐子、西村晃、小沢昭一、加藤泰、巖山泰司

終戦時に防空壕に埋めたモルヒネを掘り出してと儲けようとする者が集まった。欲に駆られた人々をシニカルに描いた異色のサスペンス。

4 影なき声

監督=鈴木清順 | 原作=松本清張 | 声



1958(S33)・日活・白黒・1時間32分・脚本=秋元隆太、佐治乾・撮影=永塚一栄・音楽=林光・美術=坂口武友 出演=南田洋子、二谷英明、穴戸錠、金子信雄、芦田伸介、高原駿雄、野呂圭介、初井炎幸

電話交換手の女性は、三年前の殺人犯と同じ声を聞き。清張と清順の意外な組み合わせから生まれた、息詰まる恐怖とスリルをご堪能あれ。

5 野獣死すべし

監督=須川栄三 | 原作=大藪春彦



1959(S34)・東宝・白黒・1時間36分・脚本=白坂依志夫・撮影=小泉福造・音楽=斎藤寅次郎・美術=浜上兵衛 出演=仲代達矢、団光子、白川由美、小泉博、東野英治郎、中村伸郎、佐藤允、三好栄子

大藪春彦の処女作を映画化したハードボイルド・アクションの金字塔。当時26歳の仲代が醸し出す狂気も絶品の傑作スリラー。

6 首

監督=森谷司郎 | 原作=正木ひろ | 弁護士



1968(S43)・東宝・白黒・1時間40分・脚本=橋本忍・撮影=中井朝一・音楽=佐藤勝・美術=阿久根巖 出演=小林桂樹、南風洋子、神山繁、佐々木孝丸、清水将夫、北竜二、大沢秀治

昭和19年に実際に起きたいわゆる「首なし事件」の担当弁護士の著書、名脚本家・橋本忍がシナリオにした骨太な社会派サスペンス。

7 みな殺しの霊歌

監督=加藤泰 | 原案=広見たつし



1968(S43)・松竹・白黒・1時間30分・構成=山田洋次、加藤泰・脚本=三村晴彦・撮影=丸山忠司・音楽=鍋本創・美術=森田郷平 出演=佐藤允、信賞千恵子、応蘭芳、中原早苗、角梨枝子、菅井きん

次々と女を惨殺する男の目的とは…。交錯する回想と明暗の強い白黒画面から、男の屈折した情念と優しさが浮かびあがる戦後の復讐劇。



『地獄の波止場』©日活

坂本頼光 Sakamoto Raikou
2000年、弁士デビュー後、時代劇作品を主に、各所で活弁ライブを行う。これまでの説明作品は約100本。令和6年度(第75回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。周防正行監督「カツペン!」では出演のほか出演者の弁士指導を担当した。

2026年4月25日(土)~5月8日(金)・14日間 ★5/2(土)~8(金) 特別上映!ポケモン短編まつり~劇場版ポケットモンスター短編傑作選 詳細は劇場HPでご確認ください

Table with columns for dates (e.g., 4月25日, 4月26日), showtimes (11:00, 13:15, 15:30, 17:45), and movie titles (e.g., 1-地獄の波止場, 2-彼奴を逃すな, 3-果しなき欲望, 4-影なき声, 5-野獣死すべし, 6-首, 7-みな殺しの霊歌, 8-非常線の女, 9-その夜の妻, 10-ポケモン短編まつり).

●「☆」=デジタル上映マーク以外の作品は全て35mmフィルム上映 ●一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めご了承ください
【トーキー作品】作品番号1~7 入場料金(当日のみ)=一般¥1400 / シニア¥1200 / 学生¥1000 ※各種割引=水曜・生シスター・夕暮れ割(平日3回目のみ)・誕生日割(要身分証提示)=一般・シニア¥1100
【サイレント作品】作品番号A、B 入場料金(前売・当日共通)=《活弁&ピアノ伴奏付き上映》=特別料金¥2200均一=特別料金¥2000均一=特別料金¥2000均一
*特別興行につき、ポイントカード招待券、割引優待券、各種割引はご使用いただけません。 *前売券発売の場合は当日券の発売はありません
前売情報(サイレント作品のみ)=日時指定・整理番号付き前売券を販売します。4/24(金)12:00よりチケットぴあ【Pコード:556-174】にて販売開始